

COVER STORY

2大出会い系デートで運命の人に出会っ！... 本紙読者が、オンライン&スピードデートをそれぞれ体験!!

Online Dating



挑戦者
田中遊子さん(35歳)
2児のシングルマザー。
「仕事がフリーランスなので、職場での恋愛チャンスはゼロ。オンラインで効率良くパートナーを探したいです」

シングルマザーのオンライン出会い体験記

入会方法

まずは、100問以上の質問から成るパーソナリティ診断。喫煙や飲酒習慣、年齢、子供の有無など、相手に求める条件を入力し、自分のプロフィールを作成して登録完了(入会費は無料)。

腰を据えて、ゆつくりと相性の良い異性を探すのに利用したい、オンラインデート。サイトはいくつもあるが、「一人ひとりのプロフィールを読む労力がない」という理由から、田中さんはマッチ・ドットコムなどの「デイトングサービス」ではなく、相性の良さそうな人をあらかじめ振り分けた上で紹介してくれる「マッチングサービス」の「eハーモニー」(www.eharmony.com)を利用して、パートナー探しに挑戦すること。

同サイトによるプロフィール記入の際のアドバイスを読み、肥満が苦手な田中さんは、「それについてあえて書かず(笑)、フィットネスに興味があり、エクササイズをよくしていることを強調しておきました」。また、いろんな人のプロフィールを読んだ感想として「相手に求める条件などを長々と書き連ねている人もいるけど、つきあいがいい印象ですね」と田中さん。フレンドリーでポジティブな内容のプロフィールがデートにつながりやすいということか？

対面までのプロセス

入会した直後から、「相性の良い」男性のプロフィールが、毎日5〜8人程送られて来るように。「びっくりですね」と田中さん。会費は1カ月59ドル95セントなどで、長期契約になるほど得。今回田中さんは、年に数回のプロモ・フリー・ウィークエンドを利用することにした。これは、金曜日の午後8時から日曜日の深夜0時まで、プロフィールの閲覧やサイト上でのメッセージのやりとりが無料でできるというもの。ただし、肝心の写真は見られない「ブライインド・デートだ」と思っ、利用してみます！。

対面までの流れは以下の通り。**(ステップ1)** 気に入った相手に、「ロマンチックなデート」とは、「質問の選択肢の中から五つを選んで送信し、答え合う。**(ステップ2)** 更に踏み込んだ質問を選択肢から三つ選ぶか、自分で質問を作つて送

実録!「彼アリ」の年越しになるか? 私のうれしはずかし、オンラインデート日記

実際のデートに辿り着くまでを追った。

DAY1 「フリー・ウィークエンド」利用のため、金曜日の夜からスタート。

DAY2 土曜の朝、早速三人から初回の質問が届く(本文内ステップ1参照)。写真は確認できないが、どの文面も感じが良さそうなので、とりあえず全員に返信(日常で、一気に三人の男性からアプローチを受けるなんてあり得ないので、いい気分!)。

DAY3 未婚のジョシュア(33)とは、その日のうちに「オープン・コミュニケーション」(ステップ4参照)まで辿り着く。マイク(31)とネルソン(37)は、共にシングルファーザー。二人共質問を交換するが、フリー・ウィークエンドの終わる日曜の夜までに「オープン・コミュニケーション」に至らず。中断するのが惜しくなり、会費を払うことに。料金的にも期間的にもちょうどいいかなと、3カ月契約にした(フリー・ウィークエンド終了後だと、3カ月で更にお得な39ドル95セントになる)。

DAY4 正会員となり早速写真を公開した途端、ジョシュアの反応が途切れる…(ちょっとショック)。マイクとネルソンとは直接メール交換。会話の中でつかみ取った情報を、矛盾がないかじっくり照らし合わせ、信用のおける相手かどうか慎重に判断。更に数日後、二人と電話番号も交換! その間も日に数人、サイトから候補者のプロフィールが送られてくる。

⋮

DAY15~ ついに、マイクとカフェでご対面(写真よりもかなり太め)。互いの息子が同い年ということで、話が弾む。翌週は、ネルソンとスペイン料理店へ。その翌日には、マイクとボーリング場で2度目のデート。マイクは私を気に入っているようだけど、太っているのがどうしても気になる。一方ネルソンはラルフ・マッチオ似のハンサムで、一緒にいて楽しいのだが、「今、数人の女性とeハーモニーで進展中。実際にデートしたのは、君が初めて」と、私同様、完全に様子見のようだ。

— To be Continued —

実際に利用した感想

「相手がシングルファーザーだと共通点が多く打ち解けやすいと思いました。ただし、今回知り合った男性はどちらも、いろんな事情で進展の可能性は薄そうですね。しかし、契約が終了するまで、時間がまだまだあるの、より理想に近い候補者が出てきたらいいなと思います。それに、真剣な付き合いまで発展せずとも、デートのための身支度をするという行為自体が、新鮮で楽しいです。ネイルを塗ったりしていると、女性として、体の細胞に栄養が行き届くように感じられます」

Speed Dating



1秒もムダにしたいくない30代の日本人男子(Tさん)と女子(Kさん)が、即効性のあるスピードデートに初参加した。

独身男女のスピードデート潜入記

Kさん36日記

30〜45歳対象の「ハリーデート」

平日の仕事帰り、一人ドキドキしながら午後7時半、会場のバーへ。女性陣はブラウスにスカートなど、落ち着いた服装が目立つ。片や男

性陣は、スーツからジーンズまで様々。チェックインしスコアカードと名札をもらって二人佇んでいると、グレンという男性に「初めて」と声をかけられ、しばし歓談。おかげで緊張がほぐれる。いよいよホイッスルが鳴り、スタート! 今夜は男女各20名で、4分ずつのデートとか。女性陣がそれぞれのイスにちらばり、男性がベルトコンベアー形式で流れていく仕組み。一人目の男性が笑顔で「ハ

イ!」とやって来た。名前と番号を確認し合いながら、スコアカード内の相手の番号横に名前を書き込む。大きな瞳が印象的なマークと、「今日初めて? 楽しんでる?」から、「住まいは? 出身は? 仕事は?」と矢継ぎ早に質問の応酬。アツという間に4分は終了し、次の男性にチェンジ。初めの頃はやや緊張しながらも、新鮮な気持ちで同じ質問に答えていたが、15人目ぐらいから疲れが出始め、相手の印象も薄くなる。男性参加者の職業は、弁護士、外科医、自営業者、写真家、ライタ

ーまで様々。質問の多くは、出身地・仕事・住まいについてだった。特にアジアに興味のある人、共通の趣味を持つている人とは話が弾んだ。帰宅後、サイトにログインし、気に入った人にチェック印をつける。私はマークと、弁護士のロイを指名。相手も自分のことが気に入ったら、メールを交換できるという仕組みらしい。結果が出る翌日の夜、少しドキドキ、ワクワクしながら結果を覗くと、何と2人共に私を指名! 2回目のデートに突入するのか!? 今後の進展が楽しみ♡。